

## OUJ神奈川学習センター あきだより

通巻第68号

2016年12月5日発行

発行: 放送大学神奈川学習センター

〒232-8510 横浜市南区大岡2-31-1

url: <http://www.sc.ouj.ac.jp/center/kanagawa/>

tel:045-710-1910 fax:045-710-1914



横浜港シンボルタワー(次号に関連記事掲載予定)

目次	哲学は面白い	客員教授 杉田 正樹	2~3
	平成28年度1学期学位記授与式		4~5
	学生研修旅行「ノーベル医学・生理学賞受賞大村智博士の故郷を訪ねる！」		6~7
	入学者の集い		7
	第30回 神奈川学習センター学園祭「フェスタ・ヨコハマ」		8
	ゼミ・研究会のご案内		9
	Kーサポートからのお知らせ		9
	サークルからのお知らせ／同窓会だより		10~11
	学習センターからのお知らせ		12

神奈川(みなとみらい)



## 哲学は面白い

客員教授 杉田 正樹



なぜ、哲学をやっているのですか、と聞かれることがあります。珍しいのでしょうか。面白いから、というのが、今の私の答えです。

### (1) 物理から哲学へ

大学に入ったとき、物理をやりたいと思っていましたが、もっと根本的なことをやりたくて(?)、哲学に進路を変えました。物理も哲学も、わずかの原理ですべてが分かる学問だ、と考えていました。記憶力に自信のない私としては、合理的な選択のはずでした。しかし残念ながら、思い違いだったようです。

学部も、大学院もまことに大変でした。ヘーゲルに取り組んだのですが、ひどく難しくて弱りました。第一ドイツ語が呪文です。また、当時現象学がさかんで、フッサールを少しかじったりもしましたが、これもおおよそ歯が立ちません。頭が悪いから、あんなに細かい議論を山ほど書くんだろう、と勝手に思ったりしました。図々しいとはこのことです。

ところが、そのうち難しい哲学にちよつとだけ距離がとれるようになりました。細かく、複雑な議論の背後に、単純で大きな枠組みが見えてきたような気がしてきたのです。すると、同じくドイツの哲学者ハイデガーの議論がなにやらハツタリくさく思えてきましたし、ニーチェなどには同情するようになりました。眉根にしわをよせたドイツの哲学よりも、大人の余裕のフランスの哲思想家モンテーニュに惹かれるようになりました。また、古代中国の荘子も面白くなってきました。要するに、単純なもの、人為を排した自然なものに惹かれるのだということでしょう。もっとも、難しいことが分からないだけのこともかも知れず、歳をとったということかも知れません。

ところが、哲学が面白いというのは、私だけではあ

りません。幼い子どもたちもまた、そうなのです。

### (2) 子どもの哲学

5年ほどまえ、ひよんなきっかけから小学生と哲学をはじめました。かれらも実に哲学を面白がるのです。人生体験も少ない、言葉もまだ不十分、論理的思考に習熟しているはずがない、そんな子どもたちが、哲学が面白いというのです。

どんな風にするのかと言えば、調べれば分かるような問題ではなく、かれらが日頃不思議だな、と思っている問題を出してもらい、それらを一緒に考えるだけです。私も一緒に考えます。正解をもった私が教える、というのではないところがミソです。

子どもたちは、「答えが決まってないから何を言ってもいい」「友だちのいろんな考えを聞けるのが面白い」「自分の意見に答えてくれてうれしい」「そんなこと疑問に思ったこともなかったような問題が出てくる」「こんなに考えたことない」「あっそうか、という発見があった」「考えれば考えるほどいろんな考えが頭に浮かんでくる」「ふだん考えないことを考えるのは楽しい」「答が出なくても楽しい」、などと「ふりかえりシート」に書いてくれます。「もっと哲学したい」、という言葉が踊ります。

たとえば、「ぼくたちなんで生きているんだろう?」「宇宙に底はあるのか?」「人間は操られているのか?」「なぜ悲しみの感情はあるのか?」「バチがあたるってどういうこと?」「なぜ時間は止まらないのか?」「一番前の車ってどの車?」「オモチャは本当に動いているのか?」「何のために生きるのか?」「どうせ死ぬのに、なぜ生きるのか?」「自分は本当に自分なのか?」「頭が固いとはどういうことか?」「魂について」などなど、多彩です。かれらは、こうした自分たちが出した問に、全力で取り組みます。「一番前の車」ですが、私は最初、渋滞の先頭の車のことか、赤信号で止まっている車のことかと思いました。しかし子どもは、どんな先頭の車でも、その先にもっと別の車がいるんじゃないかと、幼稚園のころから気になっていたといいます。彼は、宇宙の始まりを尋ねる宇宙物理学者と同じ問いを問うて

いたのです。)

もちろんなかなか答えにたどり着きません。あれこれ議論したあげく、元いたところに戻ることもしばしばです。しかし、それでも満足し、そしてもっとやりたい、と言うのです。

(3) 「哲学は陽気で、はつらつとしたものだ」(モンテーニュ)

そんな子どもたちを見ていると、モンテーニュの次のような言葉を思い出します。

「哲学が、ものの分かる人々のあいだでまで、空虚で幻のような名前の、世間の評価からも実際上からもどのような用途も価値もないものとなっていることは、ほんとうに驚くべきことです。…哲学を、子どもたちには近寄れない、しかもつ面をした、眉をひそめた、こわい顔のものに描き出すのは、大変な間違いです。だれが哲学に、このような偽りの、青白い、見苦しい顔の仮面をつけたのでしょうか。これほどに陽気で、はつらつとして、活発な、はしゃいで回るといっても良いほどのものはないのです。哲学は、うきうきとした楽しい気分だけを説きます。悲しそうな、凍えきったような顔つきは、それが哲学が宿る場所ではないことを示しています。」(『エッセー』「子どもたちの教育について」)

哲学は人を朗らかにする、と言っているのです。まなじりを決ってやるようなことではないと達観してい

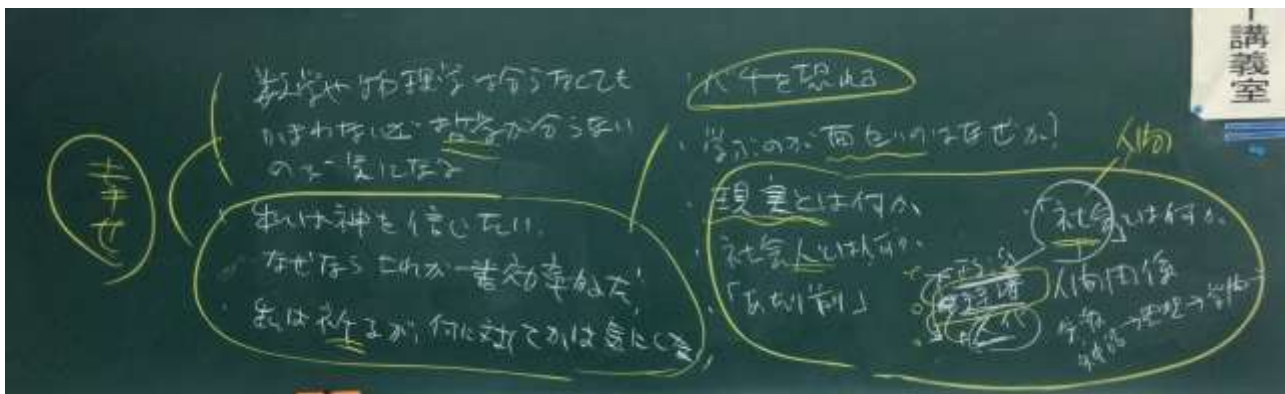
ます。16世紀、寒冷化が進み飢饉が頻発し、宗教改革の結果、カトリックとプロテスタントが、入り乱れて殺し合いをし、強盗団が横行し、彼自身子どもを何人も病で失い、腎臓病を患う、といった状況のなかでの言葉です。モンテーニュに対抗できるのは、荘子以外には考えられません。

(4) ゼミ「哲学カフェ」へのお誘い

しかし、哲学を楽しんでいるのは、子どもたちと私だけではありません。昨年から神奈川学習センターで、「哲学カフェ」という名前のゼミを、月に一回開いています。ここでも、みなさんが、子どものように(?)楽しんでおられます。

ゼミでは、「幸せとは何か?」「人生に目的はないのではないか?」「自己実現とは何か?」「人間とは?」「生きづらい」「正しいとは?」「教育の使命は?」「哲学とは?」「宗教は心理学か?」「魂について」などなど、沢山の問題が出されました。

大人ですから、問題も難しそうです。しかし、子どもたちの問題と、本質のところでは同じです。何の準備も要りません。どうぞ手ぶらで、のぞいて見てください。目からウロコが落ちるかも知れず、分かっている積りのことが、突然謎めいて来るかも知れません。そして幾分か、朗らかになるかも知れません。



【ある日の「哲学カフェ」。ここから、「幸せとは」という問題を考えました。】



## 平成28年度1学期学位記授与式

9月25日(日)神奈川学習センターの平成28年第1学期卒業証書・学位記授与式が、学習センターにて開催されました。

神奈川学習センターの卒業生は、125名、式には、69名の卒業生が、参加しました。池田所長より一人一人に学位記が手渡され、卒業生のみなさんは、卒業の喜びを噛みしめていました。

式は、学位記の授与、所長式辞、佐乗同窓会長による来賓祝辞、客員の先生方の祝辞、所長表彰、卒業生代表挨拶と続きました。本誌に卒業生代表挨拶を、掲載します。

【編集部】

### 卒業生代表挨拶

三戸 薫

本日はお忙しい中、わたくしたち卒業生のために心こもった学位記授与式を挙げていただき、誠にありがとうございます。卒業生一同、心から御礼申し上げます。

私が放送大学に入学したのは平成23年です。当時、養護学校で放課後、子どもたちに関わる仕事をしていた私は、3年目が過ぎた頃、もっと子どもたちのことを知り、役に立ちたいと思うようになりました。

そこで、放送大学で先に勉強していた知人に紹介していただき、初めは選科履修生として入学し、知的障害教育総論を学びました。勉強することが苦手で不安もありましたが、わからない所は繰り返しラジオを聴くことができるので、納得のいく勉強ができました。その後、特別支援教育基礎論、総論を学び、勉強が楽しくなった頃、肢体不自由児の教育でテレビ授業に出会い、特別支援学校の一日の流れや子どもたちの様子、先生方がどのように指導しているのかが見ることができ、私もどのように子どもたちに接していけば良いか、少しずつわかるようになってきました。それと同時に、大事な仕事を任されていることに、おのずと自信がついてきて、前に進んでいこうという意欲がわいてきました。そこで平成25年に全科履修生に編入し、卒業することを目標に、日々勉強を続けてきました。しかし、選科履



修生としての勉強であれほど楽しく意欲を持っていたのと同じ、全科履修生では苦労もありました。卒業するためには、自分の苦手な教科もとらなければならない、何度、印刷教材を読んでも頭に入らず、試験ぎりぎりまで四苦八苦していた事を思い出します。それでも苦労した分、単位がとれた時には喜びも多く、日常生活にはない充足感がありました。

また、放送大学に入学した初めの目標から発展していったこともあります。社会の中の芸術や西洋音楽史は、若い頃に学んだことを振り返ることができ、楽しくとても印象に残りました。更に在宅看護論を学んだことで、ヘルパーの資格を取ることができました。それは今、養護学校を卒業していったお子さんたちの支援につながっています。社会福祉と権利擁護は難しかったけれど、新聞やニュースに出てくる法律用語を知ることができ、社会にいつそう心が向くようになりました。人口減少社会のライフスタイルなどは、自分の家庭を振り返ることができ、認知行動療法やさまざまな心理学の勉強は、自分自身を見つめ直すきっかけになりました。目標としていた教科を取ることはもちろんですが、おもいがけず取った教科に新しい発見があり、まさに放送大学でいうところの知れば知るほど人生は楽しい！ということが実感できました。卒業することを目標にしたあの日から自分なりにコツコツ勉強し、今日、それが達成できたことで、自信と力をつけることができました。その力を次世代をになう子どもたちのために使い、少しでも社会に貢献できるよう努めていきたいと思っています。

学位記授与式にたどりついた私たち卒業生は、学ぶことの大きな喜びと意味を感じ、更に次の目標や夢を抱いて今日ここにおります。新しいスタート地点に立ち、一步進んだ学習へと突き進んでいくために、先生方、これからどうぞご指導のほど、よろしくお願い致します。

## 卒業生挨拶

### 杉本 與七

今回卒業する私達の為に、かくも盛大な学位記授与式を執り行って下さいました事を、神奈川学習センター 所長様始め、教職員関係者様各位の方々に、心より厚く御礼申し上げます、真に有難う御座いました。

今回卒業する私は「杉本與七」と申します、貧困から就学の機会を失い、昭和・平成の世を次の様に生きて参りました。

富山の田舎者が小学校を終えた時、小学校の先生の言われる通り、中学校へ行けない人は、例の夜行列車で上京をと勧められ、上野駅へとやって参りました、着いた先は三鷹の中央航空研究所でした。

ここで基礎的な授業を受けて各課に配属され、私はエンジン関係でしたが、何もしない内に終戦となり、中央航空研究所は廃庁となりました。

止むなく元の故郷に戻り、先の勤め先の縁で富山県庁に勤める事が出来ました。以来家族を連れて、中部や関東管区内を転任し、齢い六十歳を少し前に退職しましたが、その後は関連機関や自営業等で、七十二歳まで働き続けました。この私が転々として最後に辿り着いたのがこの横須賀市湘南鷹取で御座います。

私が放送大学を知ったのは、定年を過ぎて何年か経ってからのことでした。ある時、行政センターで、カウンターの上に

放送大学のチラシがありました。仕事一途で生きて来た私には宝物のようでした。早速調べ、もう歳だからと、諦めかけていた私でしたが、今までの苦い思いが噴き出し、よしやるぞと、覚悟のホゾを決めました。

この歳ではどうせ、老老介護に成るだろうからと、関係の有りそうな「生

活と福祉」に決め、長い年月を掛けて何とか、平成19年3月24日、夢にも見た初めての、卒業証書・学位記が不思議にも頂けました。

放送大学の授業が少しずつ分かり、次の様な卒業結果と成りました。まあ頭のほうも何とか頑張ってくれたようです。

- 1「生活と福祉専攻」平成19年3月卒業
- 2「産業と技術専攻」平成21年3月卒業
- 3「人間と文化コース」平成24年3月卒業
- 4「自然と環境コース」平成28年9月卒業

という訳ですが、もっと頑張っ、早く全科目を取りたいと考えていましたが、齢九十歳ではもう時間切れもいいところです。やむを得ませんから、止めるか、どうするか、悩ましい処ですが考慮中で御座います。鉄は熱い内に打てと言われますが、もうその様な段階ではございませんからお若い皆様方にバトンタッチし、次の課目に挑んで下さるようお願い申し上げます。

皆様方のご活躍を心から祈念して、私の話を終わらせて頂きます、ご静聴有難うございました



杉本さん(左)と池田所長





## 2016年度学生研修旅行「ノーベル医学・生理学賞受賞大村智博士の故郷を訪ねる！」

Kーサポートバス研修チーム 村田 カズ子

5月30日にバスタ新宿から出発の高速バスでの下見を経て10月13日(木)天候にも恵まれ、学生41名と教職員6名(大型バス1台)で研修旅行を実施。韮崎まで160km弱の行程であったが、圏央道が海老名ICまで延長したことで所要時間にも支障なく充実した研修旅行となった。

天理ビル8:30⇒東名高速・圏央道・中央道韮崎IC⇒大村美術館11:30~14:10⇒サドヤ醸造場15:00~16:40⇒横浜帰着18:40

往路は談合坂SAで帰路は厚木PAでトイレ休憩をとる。最初の目的地、大村博士の生家に隣接する

韮崎大村美術館は韮崎の中心地から離れた小高い丘の上にあり3



60度の展望である。「人のために尽くしなさい」という祖母からの教えで先ず、町民のための温泉、武田乃郷“白山温泉”を造った。露天風呂からは八ヶ岳、茅ヶ岳(深田久弥終焉の地)が間近に望め「別天地の境地ね」と入浴後Aさんが述懐。隣にはそば処“上小路”が併設。その後にご自身が蒐集された美術品を収める美術館を建設された。美術館は韮崎市に寄贈されている。ここ、韮崎市神山町鍋山は甲斐源氏・武田の祖の武田信義公館跡、武田一族の祈願寺で信義の墓がある願城寺、武田八幡宮(822年岩清水八幡宮から分霊)武田家の氏神と武田一族発祥の地であった。またノーベル賞受賞時に博士が通った韮崎中学(現在市役所)への通学路が「幸せの小径」と命名され散策路マップがある。美術館での滞在時間に周辺を歩き里山を十分堪能できたことは研修旅行ならではの醍醐味である。サドヤワイナリーまでの道路沿いに韮崎のもう一人の偉人、阪急電鉄や東宝、宝塚を興した小林一三の生家があることを下見の時にタクシーの運転手から知った。商家布屋の家に生まれた一三の生家は上宿本家・中宿・下宿と3か所にあったが現在は本家跡が「にらさき文化村」で一般公

開。向かいには韮崎窟(穴)観音・雲岸寺があり一三少年は洞窟が遊び場であったと。市



街地に入ると宿場の佇まい、あっという間にバスは生家の前を通り過ぎる。甲府駅南口には甲府城(舞鶴城とも)秀吉が家康を牽制するために築城したが現在建造物は殆んどなく石垣や天守閣の高台が展望台、一帯が市民の憩いの場・舞鶴城公園になっている。ワイナリーのある北口へは中央線の跨線橋を渡る。JR中央線の為に甲府城は分断され北口にも続いている。北口広場には明治維新後県令となった藤村紫明が推進した明治の擬洋風建築の瀟洒な建物が“甲府市藤村記念館”市民の交流館として保存されている。車窓から舞鶴城



公園、藤村記念館を案内してサドヤワイナリーに到着。2班に分かれて地下のワインセラー見学と明治から



の歴史を持つサドヤが拘っている地元産のブドウのワイン3種の試飲チョッピリ、地下から戻ってソフトクリーム売店に長い列が・・30分遅れての出発になる。帰路の所長と2人の客員の先生によるミニ講演。持田幸良客員教授は、植生のお話し、溝口周二客員教授は、今回のテーマにぴったりのワインと葡萄のお話。貴重な学びの場、研修旅行の要綱やチーム員の作成資料等センターのロビーの棚にバインダーに収められている。準備に指導頂いた佐藤教務係長が10月に転出され本番にご一緒出来なかったこと広報の菅崎さんには写真全て、名札の作成といつも応援頂きともに感謝のみ・・。

Kサポート 村田 カズ子

### ○参加者感想(アンケートより)

韮崎大村美術館は、全体的に外装も内装も大村先生らしい素朴な美術館で周囲の環境も、こういう場所で、のどかな場所で、育たれたのが、今の研究にもつながったかなと思った。美術品は女流が多く

現代のものはあまり観たことがなかったので、女性も力強いものが作れると感心しました。中でも、やはり、おだやかな色あい、温かい雰囲気のもの、女性らしい作品に心、癒やされました。武田八幡宮では、昔の武家に思いをはせました。

サドヤ醸造所は、地下の広さに驚きました。なんでも、初めに、計算して、しっかり計画をたて、設計し、無駄なく設備を整えるのが大事だと思いました。ワインについてのお話しも、大変、勉強になりました。下戸用のぶどうジュース、アイスクリームも、美味でした。お庭を見たかったです。ぶどう畑も見学してみたかったです。

Kサポートの皆様が、下準備、時間をかけてくださったこともわかり、大変、有難く思いました。バスガイドさんからの案内もありがとうございました。持田先生も熱心に準備ご説明いただき勉強になりました。所長さんはじめたくさんの方々に、感謝申し上げます。



## 平成28年度2学期 入学者の集い

編集部

10月8日(土)神奈川学習センター平成28年度第2学期の入学者の集いが開催された。今学期、神奈川学習センターの入学者は、1,101名(うち、学部997名、大学院104名)、そのうち、会場には、133名(うち、学部121名、大学院12名)が集いました。



岡部学長の挨拶(ビデオメッセージ)、所長式辞、来賓祝辞(佐藤同窓会長)、客員教授紹介(先生方それぞれ、入学者に向けて数分間のお話しをされました)、学歌(神奈川合唱団)。式の後、引き続

き、オリエンテーション(事務の職員から学習センターの使い方の説明と事務連絡など)、最後に、学生サークル等の紹介がありました。

悪天候で、例年より参加者は、若干少なめでしたが、3時間にわたる集い、最後まで熱心に聞き入っていた方がほとんどで、途中退席者が少ないこと、学生生活の葉を持参し、配付資料とともに眺めながら聞いている方もあり、学びたい気持ちに満ちた集いの印象を受けました。







## 第30回記念 神奈川学習センター学園祭 「フェスタ・ヨコハマ」



9月3日と4日、今年で30回目を迎えた、学習センター学園祭、フェスタ・ヨコハマが、神奈川学習センター所属の9つの学生団体と同窓会によってつくられた、神奈川サークル協議会の主催(学習センターの後援)で開催された。

9月4日企画の中心となる、記念講演会には、放送大学学園理事長の白井克彦先生をお招きして、『放送大学の現状と将来』の演題で行われた。講演会后、白井先生の乾杯によって、交歓親睦パーティーが開催され、神奈川学習センターの学生約300名と教職員の交流の輪が広がった。パーティー会場には、各サークルの模擬店が出され、お抹茶コーナーやジャズライブも行われた。

また、9月3日は、落語家の立川こしらさんと講師の一龍斎貞寿さんをお招きした大岡寄席、ダンスパーティー、ホームcomingデーが行われた。3日、4日の両日を通して、学生の作品展示が催された。





## ゼミ・研究会のご案内

## ○平成28年度神奈川学習センター開講ゼミ・研究会一覧

平成28年11月24日現在

①客員教授開講ゼミ				
教員	ゼミ名	開催曜日	開催日(予定含)	申込先・連絡先
有馬 眞	地球科学ゼミ	原則月1回	5/24(所外)、7/5(所外)、11/15(所外)	arima@ynu.ac.jp
杉田正樹	哲学カフェ	原則第4土曜日	4/23、6/25、8/27、9/24、10/29、11/26	msugita@kanto-gakuin.ac.jp
中嶋俊夫	第九を楽しむ	原則月2回(土・日)	4/9、5/7、5/29、6/11、6/26、7/10、8/14、8/27、9/10	shinichi-36820-baba@extra.ocn.ne.jp
種田保穂	種田ゼミ		4/21、5/20、9/28、10/26、12/21-22(所外)	taneda@ynu.ac.jp
角 洋一	角ゼミ		4/12(所外)、6/9、6/23、7/14、8/4、9/21(所外)、9/29、10/13、12/8、1/12、2/9、3/9	sumi@ynu.ac.jp
茂木一衛	茂木ゼミ	原則月1回	10/6、11/10、12/7、1/12、2/9	shinichi-36820-baba@extra.ocn.ne.jp
遠山紘司	遠山ゼミ		4/14、5/19、6/30、9/15、10/20、11/17、12/15	kmymt@olive.ocn.ne.jp
②元客員教授開講ゼミ				
教員	ゼミ名	開催曜日	開催日(予定含)	申込先・連絡先
藤原 一繪	植生研究会	原則第2木曜日	4/21、5/12(所外)、6/10(所外)、7/14、9/15、10/20(所外)、11/17(所外)、12/8	syokusei@yakatsu.org
影井清一郎	科学の散歩道研究会	原則第3土曜日	4/23、5/21、6/18、9/17、10/22、11/26	kagei@ynu.ac.jp
浅野 幸弘	浅野ゼミ	原則第2木曜日	4/14、5/12、6/9、7/14、8/18、9/8、10/13、11/10、12/8、1/12、2/9、3/9	yasano37@ynu.ac.jp
③元放送大学教員開講研究会				
教員(顧問)	研究会名	開催曜日	開催日(予定含)	申込先・連絡先
天川 晃	放送大学ガバナンス研究会	原則第2土曜日	4/9、5/7、6/18、7/3、9/17	jkaz5529@gmail.com
柏倉康夫	詩游会	不定期開催	6/4	miyako.f71417@jcom.zaq.ne.jp

## K-サポートからのお知らせ

## ○学習相談チーム

平成28年度2学期の学習相談は、12月18日までの土曜日と日曜日、午後1時から午後3時50分の間、2階談話室の相談コーナーで行います。予約は不要です。放送大学での学習に関して困っている点に限らせていただきますが、まずは気軽に何でも相談にきてください。

## ○パソコンサポートチーム

- パソコン初心者塾
- ・1月10日(火曜)13:00~15:30  
「Word超入門」
  - ・2月19日(日曜)13:00~15:30  
「科目登録の提出」

※参加・サポートを受けるには、申し込みが必要です。学習センター事務室で、お申し込みください。  
上記日程(定期塾)のほか、日程を調整して個別対応(不定期塾)もいたします。こちらも、学習センター事務室でお申し込みください。

## 【退任教職員紹介】

放送大学神奈川学習センターを平成28年9月30日付で退任されました。  
たいへんお世話になり、ありがとうございました。

教務係長	佐藤 光明	
総務係員	安保 祐美子	

## 【新任教職員紹介】

放送大学神奈川学習センターに平成28年10月1日付で採用になりました。  
よろしくお願いいたします。

教務主任	片野 克己	
総務係員	下田 恵津子	

## 学生サークルからのお知らせ

### ○人間学研究会

神奈川学習センターにて毎月の例会で会員の卒業研究や仕事、旅行等での経験、趣味やライフワーク等の成果発表を行っています。

12月～2017年1月までの例会予定

12月3日(土)13:00～「シルクロードの国々の民族、言語、文字の変遷を探る」

2017年1月7日(土)13:00～

会員の寄稿による会誌「せせらぎ」を毎年10月発行。今年27号を発行済。

遠足・演劇鑑賞・美術館めぐり等の行事もあります。

会員随時募集中

お問い合わせ先:

小林鋭子 E-mail: d52n66su\_yoof@ybb.ne.jp

片野賢治 E-mail: mt.dream@jcom.home.ne.jp

### ○放大かながわレク・サークル

★パソコン部:個人のニーズに応じた学習。

学習日時:第2、第4木曜日 13時30分～15時30分。

場所:神奈川学習センター 実習室:申込制

★ウォーキング部:2ヶ月に1回、「東海道五十三次」

実施中。名所旧跡文化 施設等も対象

★その他観劇、観光、映画、美術鑑賞等。

上記の各種活動はいずれも自由参加。

—会員募集中(随時申込・受付)—

問合せ:島田 義治 Tel 090-3907-8384

E-mail simada.yosiharu@coral.plala.or.jp

### ○ダンスサークル(社交ダンス)

場所:神奈川学習センター第7講義室

曜日:第2・第4火曜日 \*第1・第3火曜日自主練習

時間:午後2時～4時 講師:菊島弘明・ユリ子

会費:1か月 1500円

活動内容:社交ダンス(モダン、ラテン)の学習(ダンスパーティーで踊れるレベルに)

ダンスはスポーツです。健康増進(特に、姿勢が良くなる)、ストレス解消に、楽しく踊りませんか!! 人生がより明るくなります。不定期ですが、1泊での実習旅行も実施しています。初めての方も楽しく踊っています(初心者、歓迎!)

また、全科履修生の方は30時間のレッスンで、体育実技1単位を取得できます。

連絡先:印南英敏 E-mail:in-nami@oboe.ocn.ne.jp

### ○うえるかむKanagawa

私たちは英語を楽しみながら学んでいるサークルです。

☆例会は毎月第2、第4水曜日です。(試験月等は変更があります。)

\* Benny Class(3クラス) 10:15～12:30

\* English songs 13:15～13:30

\* Group study 13:30～15:30

☆そのほか暑気払い、うえるかむ名画座、

ゲスト講演会などを開催しています。

問い合わせ 片野眞明 090-4714-8260

### ○韓国語同好会

★月例会 第2、第4土曜日

①10:00～11:30 初級クラス

②11:30～12:00 ミーティング(全員)

③12:00～13:30 中級クラス

④13:30～14:30 自主学習(「ソナギ(にわか雨)」

読書会)11月から開始

★講師 横浜国大大学院生 林恵園先生

★行事:10月16日 横浜三ツ池公園にて、コリアマダン(韓国の祭礼)を見学した。

★問い合わせ 神奈川サークル協議会のホームページからどうぞ。

<http://kcc-ouj.net/dantai/hangugo/> (代表:斎藤)

### ○中国語学習会

10月までの訪日外国人旅行者が2000万人に達し、中国、台湾からの旅行者も820万人を超えたそうです。中国語を耳にする機会は日増しに多くなることでしょう。あなたも中国語に触れてみませんか。

\*学習日:第1、第3日曜日(原則)

午前の部 告旭平先生

10:00-11:00「本気で学ぶ中級中国語」を教材に文法理解、表現力を高めます。

11:15-12:00 自由会話 講師の話の後、各自が話題を提供して語り合います。

午後の部 唐斌先生

13:00-15:00「中国語 I '14」放送大学教材にて発音練習を繰り返し、初心者の方の基礎固めを図ります。

どの時間帯でも自由に参加できます。

\*お問い合わせ e-mail:snuf.708w@ezweb.ne.jp

tel.080-3552-2497 和田



## ○神奈川合唱団

♪ 合唱団の皆さんと一緒に

楽しく歌って見ませんか ♪

今年も学位記授与式(3/26)にNHKホールで、放送大学「学歌」を総勢60名の皆さんと一緒に歌い、卒業生・修了生をお祝いしました。

今学期は、「学歌」や「ふるさと」などを練習しており、2学期「入学式」に歌う予定です。

☆場所: 大岡地区センター音楽室(2F)

☆日時: 毎月第1・第3水曜日 18:00~20:30

問合せ 馬場信一 s.andante.b3682@docomo.ne.jp

高野義信 seiza\_olion@docomo.ne.jp

## ○資格取得研究会

看護・福祉分野を中心にキャリアアップや進学・就職を目指す集まりです。現在、大学卒を目指す看護師の方、看護、医療、福祉関係のキャリアアップと認定心理士を取られる方などがいます。内容は、例会(情報交換)と講演会の聴講など。

これからの例会予定

・1月15日(日)10:00~ 学生団体室

会費: ¥500(1年間)

ホームページ…<http://shikaku.yumesora.net>

お問い合わせ…080-5546-7913(はこぎき)

## ○神奈川放友会

豊かで実りある学生生活を共有することを目的に、「学び」と「触れ合い」を柱とする幅広い活動を展開し、140余名の会員から強い支持を得ているサークルです。

☆学びの場の活動

○例会・新年会 1月8日(日)

例会: 講演会 演題『お神輿担ぎ』

新年会: 伊勢佐木町ワシントンホテル2F

○クラシックを楽しむ会 1月20日(金)

横浜みなとみらいホール

☆触れ合いの場の活動

○忘年会

12月18日(日)場所: 横浜パセラリゾート関内店

☆毎月の活動: 俳句の会、書に遊ぶ会、女性の会、詩游会他

詳しくはWebで、<http://kanagawa-hoyukai.jp>

入会申込・問い合わせ先: 山崎正之

[info@kanagawa-hoyukai.jp](mailto:info@kanagawa-hoyukai.jp)

## ○放送大学西洋音楽史研究会

☆毎月一回「文京学習センター」にて勉強会を開催

佐々木先生による講義と関連する音楽を聴き、質疑応答などをとおして、西洋音楽史の知識、理解を深めることを目標に活動を行っています。

古代から中世・ルネッサンス・バロック時代へと勉強会も36回と回を重ね、現在、大バッハをじっくりと読み解いています。

☆今後の勉強会予定

12月11日(日)13:30-17:00 文京学習センター 講義室10

※1月以降はお問い合わせ下さい。

☆講師: 佐々木勉 先生

(慶應義塾大学非常勤講師/元名古屋音楽大学教授)

☆お問合せ seionken.ouj@gmail.com

## 神奈川同窓会だより

☆“行くところがある・会う人がいる”

そこは同窓会“弘明寺サロン”です

\*会員と会員を結ぶサロンです

\*会員以外の方も大歓迎

\*予約は不要です

\*ぶらりと来てください

☆12月10日(土)15:00~17:00サロン

「山田俊治 客員教授」による講演会

演題:『飛ぶが如く』で読む西南戦争

その後「忘年会」を予定。多数参加ください。

HP:→<http://hatoh.net/>

お問い合わせ…045-333-4426 金田 保男

## 次号予告

ふゆだより平成28年1月下旬発行

主な記事

・神奈川学習センターウォーキング

・面接授業「三浦半島・三崎地域のジオツアー」

・面接授業「社会心理学入門」

ほか



## OUJ神奈川学習センターだより編集部

家田、伊藤、入江、遠田、笠井、吉川、木下、宮崎、三国、和田

(50音順、以上、K-サポート機関紙編集チーム)

垣谷(K-サポート事務局)

宮崎(学習センター事務局)

# ◆学習センターからのお知らせ

## ◆29年度第1学期学生募集（詳細は募集要項を熟読すること。）

《学部・修士選科・修士科目》

募集要項配付	28年12月1日（木）～29年3月20日（月）
出願受付（第1回）	28年12月1日（木）～29年2月28日（火）
出願受付（第2回）	29年 3月1日（水）～29年3月20日（月）
授業開始	29年 4月1日（土）

## ◆単位認定試験期間（詳細は「学生生活の葉」を熟読すること。）

<学 部> 29年1月22日（日）～29日（日）（23日（月）と27日（金）を除く）

<大学院> 29年1月20日（金）～21日（土）

<留意事項>

1月13日（金）までに受験票が未着の場合は大学(TEL043-276-5111)へ  
問い合わせてください。

## ◆通信指導の解答・解説・添削結果の未着

自習型問題の解答・解説が28年12月26日（月）までに、  
択一式科目の添削結果が29年1月6日（金）までに、  
記述式科目の添削結果が29年1月16日（月）までに、  
未着の場合は大学（TEL043-276-5111）へ問い合わせてください。

## ◆客員教授公開講演会

12月10日（土）13時～15時

上川孝夫先生 『激動の世界経済を考えるードル、ユーロ、人民元、そして円』  
受講方法 下記お問合わせ先へ参加申込ください。

## ◆面接授業科目の追加登録受付中

STEP1：追加登録期間 10月21日（金）～ 科目ごとに定められた  
追加登録受付期限日（原則として開講日の1週間前、一部例外有\*）

STEP2：追加登録面接授業受講

\* 授業準備の都合上、追加登録を受付けない科目、または1週間前まで受付けられない科目がありますのでご了承ください。

## ◆事務室からのお知らせ

- ①いよいよ、寒い季節となりました。手洗い・うがいの励行、適度な運動、バランスの摂れた食事、十分な睡眠、規則正しい生活を心がけましょう。
- ②大雪等により、臨時閉所する場合がありますので、本センターHPやキャンパスネットワークHPのお知らせを日頃から見るようにしてください。
- ③本センターの駐車場は身体に障がい等がある等の理由で特別に許可された学生のみが利用できます。許可のない方の駐車はご遠慮ください。

お問い合わせ： 放送大学神奈川学習センター

電話045(710)1910（月曜日・祝日等を除く、9時10分～17時40分）